

大阪湾漁場環境速報

2022年 3月 9日発行
兵庫のり研究所

神戸空港沖から関西空港北にかけての湾奥部では、小型珪藻のスケルトネマを優占種としてキートセロス等が多く確認されました。窒素は、陸水等の影響が見られた地点を除き、明石海峡部で2 μg-at/L前後、紀淡海峡部で2 μg-at/L台後半、湾中央から淡路東浦沖で概ね1 μg-at/L前後の値でした。

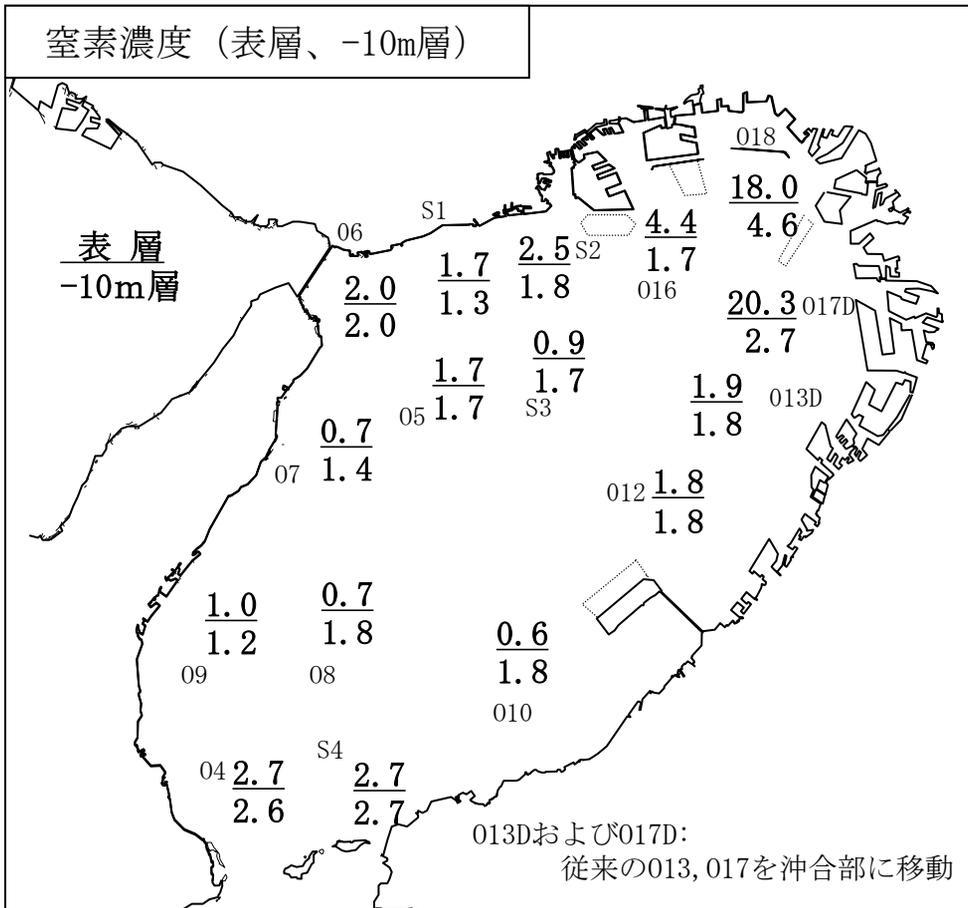
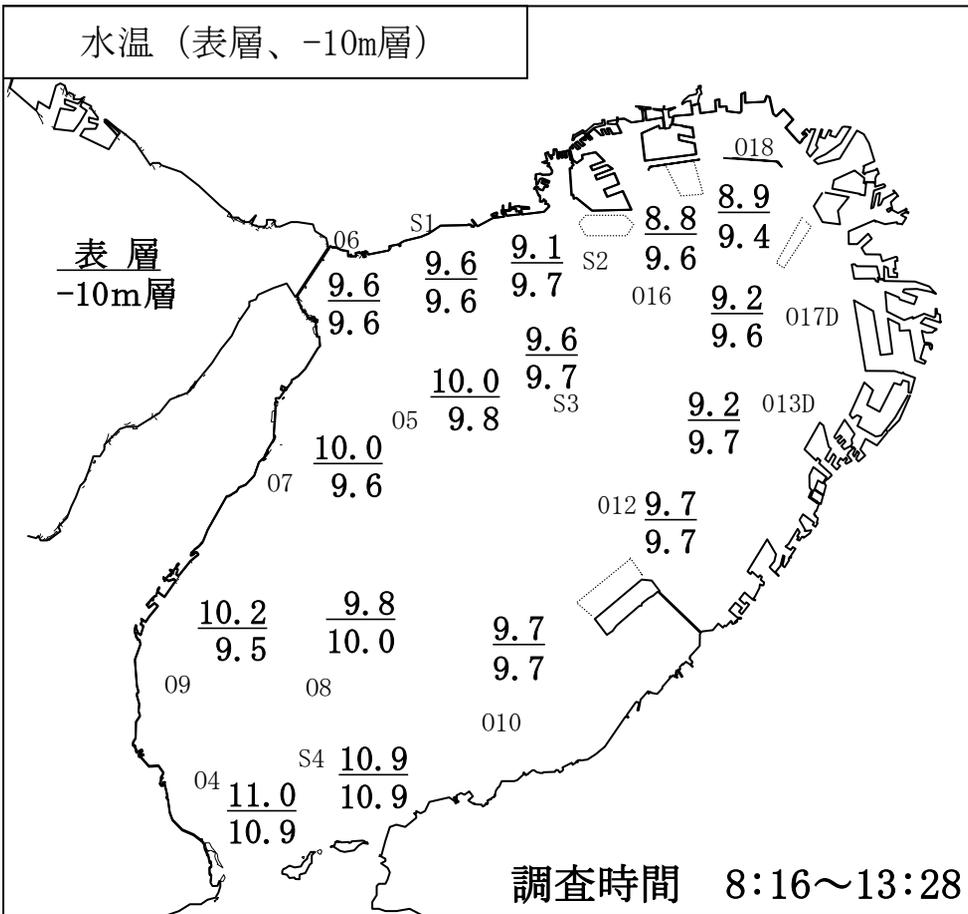
(水温) 表層は湾内8~11℃台で、平均9.8℃。平年比0.4℃低い。-10m層は平均9.9℃ (平年比-0.4℃)。

(塩分) 表層平均31.86psu(平年 31.22)。-10m層平均32.46psu(平年 31.96)。

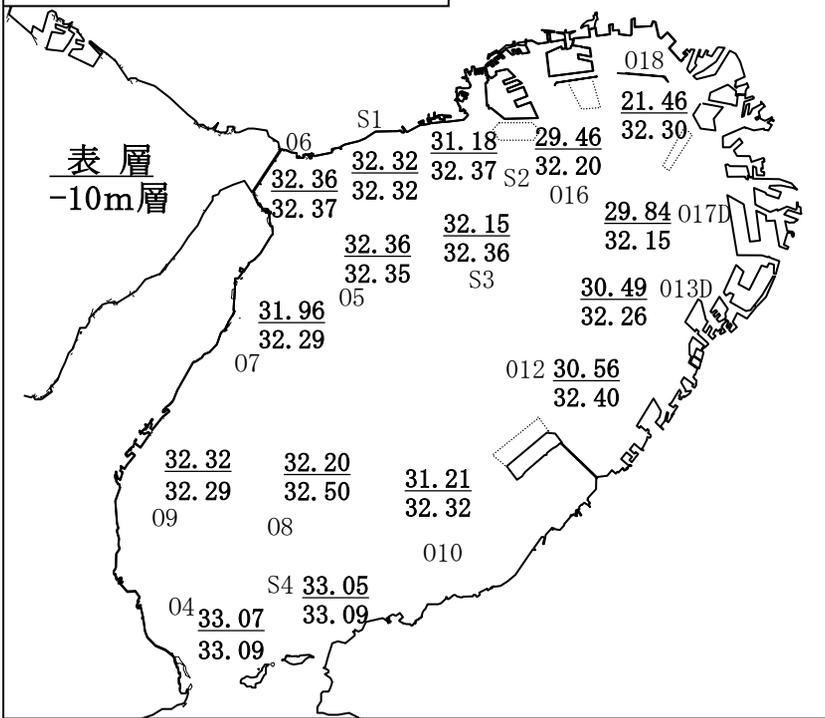
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均1.8 μg-at/L、リンは平均0.17 μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素1.8 μg-at/L、リン0.28 μg-at/L。湾奥において、小型珪藻のスケルトネマが優占的に大量発生しており、リンの値が大きく低下していた。また、湾奥部の海水が波及してきたと思われる淡路東浦沖~湾中央の表層では、窒素が1 μg-at/L前後の値であった。-10m層においても、窒素は概ね1.8 μg-at/Lとなっており、湾全体の栄養塩は低下傾向にある。

上段 (今回値)	2022年 3月 8日調査
中段 (昨年値)	2021年 3月 4日調査
下段 (平年値)	3月上旬

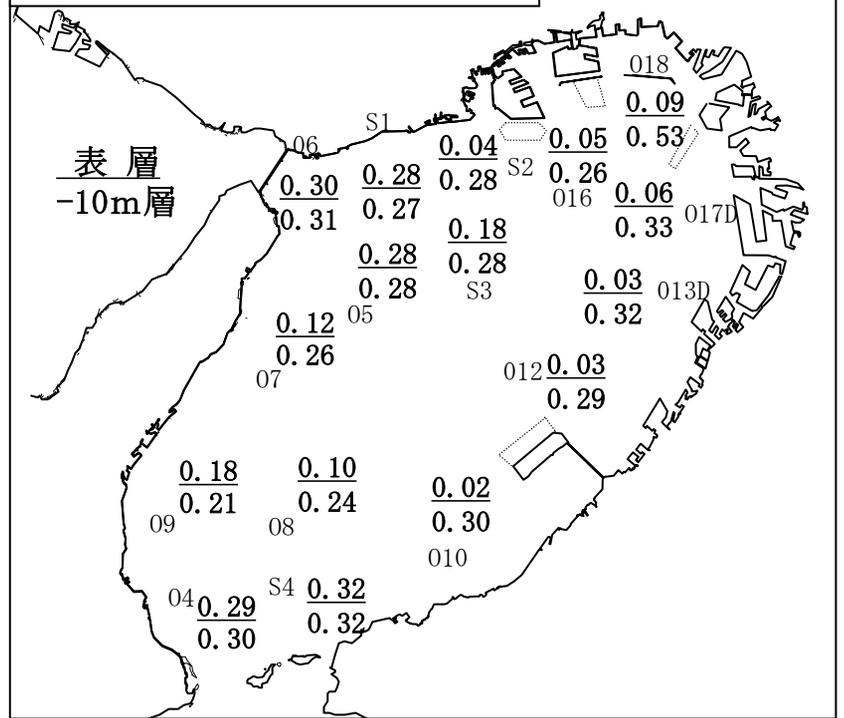
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	11.0	33.07	2.7	0.29
	11.2	32.79	2.2	0.30
	11.1	32.52	3.3	0.31
05	10.0	32.36	1.7	0.28
	10.4	32.13	1.6	0.28
	10.2	31.65	2.0	0.22
06	9.6	32.36	2.0	0.30
	10.0	32.08	2.0	0.34
	10.2	31.58	2.8	0.29
07	10.0	31.96	0.7	0.12
	10.5	31.71	0.6	0.10
	10.2	31.58	2.6	0.25
08	9.8	32.20	0.7	0.10
	10.3	32.03	0.5	0.11
	10.4	31.67	1.4	0.18
09	10.2	32.32	1.0	0.18
	10.6	32.19	0.5	0.10
	10.4	31.72	1.9	0.20
010	9.7	31.21	0.6	0.02
	10.3	31.70	0.3	0.06
	10.2	31.41	1.4	0.14
012	9.7	30.56	1.8	0.03
	10.1	31.04	3.8	0.16
	10.2	30.74	3.3	0.17
013D	9.2	30.49	1.9	0.03
	10.0	30.51	7.9	0.28
	10.0	30.23	4.8	0.18
016	8.8	29.46	4.4	0.05
	9.7	30.43	2.2	0.07
	10.1	28.82	8.4	0.23
017D	9.2	29.84	20.3	0.06
	10.0	30.21	27.5	0.70
	10.1	28.44	23.6	0.67
018	8.9	21.46	18.0	0.09
	9.9	27.28	15.9	0.49
	10.3	23.86	25.9	0.77
S1	9.6	32.32	1.7	0.28
	10.1	32.07	1.8	0.28
	10.2	30.87	2.6	0.21
S2	9.1	31.18	2.5	0.04
	9.9	31.43	1.0	0.09
	10.0	29.92	3.7	0.17
S3	9.6	32.15	0.9	0.18
	10.1	32.05	1.7	0.24
	10.2	30.96	3.5	0.27
S4	10.9	33.05	2.7	0.32
	11.1	32.74	2.5	0.33
	11.2	32.44	2.8	0.28



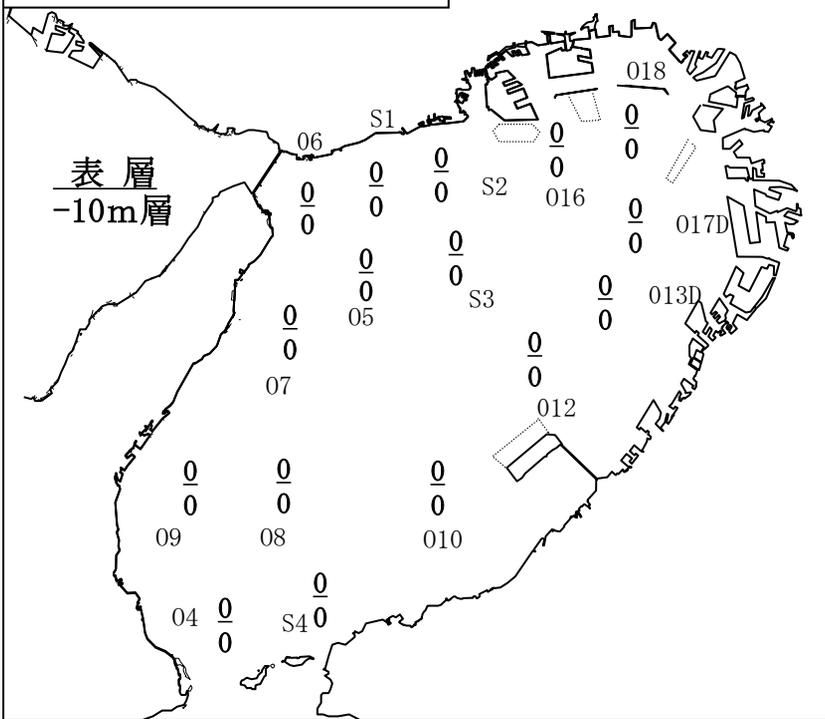
塩分 (表層、-10m層)



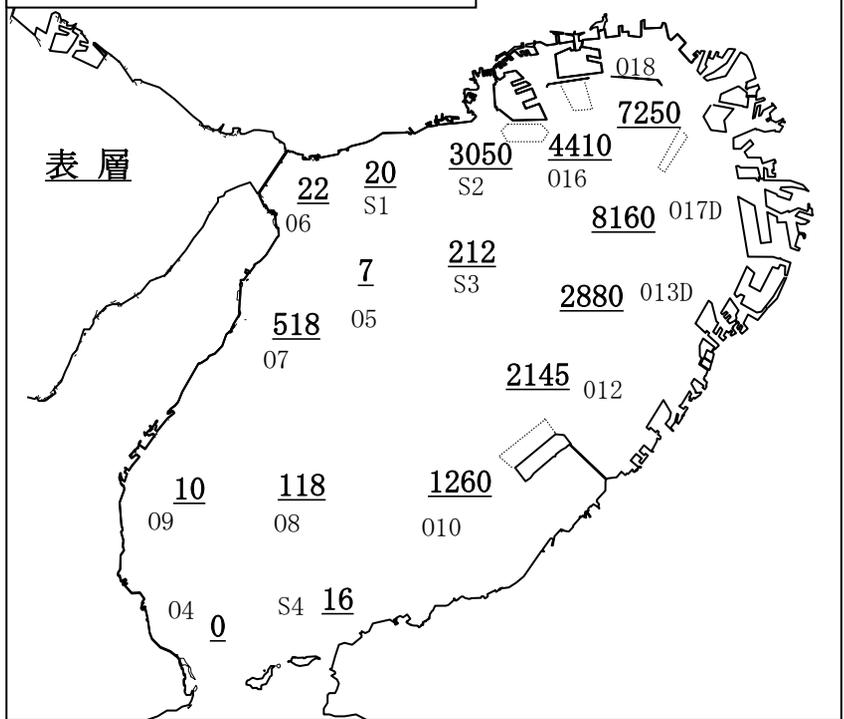
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

